

平成 28 年度長野県ふるさとの森林づくり賞 受賞者の皆さまの功績

【ふるさとの森林づくり大賞】

受賞者名	うえはら たかお 上原 貴夫	住所	北佐久郡御代田町
<p>＜功績事項＞</p> <p>同氏は、平成 7 年から現在まで子ども達を対象とした森林空間を積極的に活用する活動を実施しており、実施に当たっては、保育士、保護者等と連携するのみではなく、短大等の学生をボランティアとして参加させるなど森林をフィールドに若い世代を中心とした様々な人が関わる活動を行っています。</p> <p>また、県内の野生鳥獣に関する調査研究を 30 年間継続して行っており、現在は、長野県特定鳥獣保護管理検討委員会委員長、農林水産省の鳥獣害対策アドバイザーとしても活動するなど、本県の森林・林業の発展に貢献されています。</p> <p>なお、第 67 回全国植樹祭の開催に当たっては、基本構想検討や式典専門委員会の委員長を務めるとともに全国植樹祭の学生ボランティアの先導役として多くの若者を巻き込み、全国植樹祭の成功に貢献されました。</p>			

【森林づくり推進の部】

賞 名	長野県知事賞		
受賞者名	ほうじん あさまおんせん き きずなかい NPO 法人 浅間温泉木の絆会	住所	松本市
<p>＜功績事項＞</p> <p>同法人は、平成 14 年 3 月の松本市本郷地区の大規模山林火災の後、復旧に努めてきた地域住民の再生活動意思を継承する形で平成 24 年 6 月に設立されました。その取組みは、被災地の復旧のみならず、森林の多面的機能の復元と増進を目指し、植栽活動や遊歩道の整備を毎月実施し、地域住民の癒しの森林づくりや憩いの場の提供という里山再生に尽力しています。</p> <p>また、地域住民のみならず、地元浅間温泉に訪れた観光客への緑化啓発を図るために遊歩道案内板を設置するなど地域における森林整備活動に大きく貢献しています。</p>			

賞 名	長野県緑の基金理事長賞		
受賞者名	おがわこうちざいさんく 小川耕地財産区	住所	下伊那郡喬木村
<p>＜功績事項＞</p> <p>昭和 31 年に設立した同財産区は、クリンソウの群生地として有名な喬木村九十九谷森林公園を含む広大な森林を管理しており、近年は、松くい虫被害等により荒廃した森林を「キノコ山」として再生することを目指し、子どもから大人まで多くの人々が楽しめるような森林づくりに取り組んでいます。</p> <p>また、キノコ山の再生をするための「コウタケ」増産試験地の設置や森林整備による伐採した広葉樹を原木としたキノコ植菌やクリンソウの管理による観光客誘致などの取組は、地域全体の活性化に大きく貢献しています。</p>			

賞 名	長野県森林組合連合会長賞		
受賞者名	とと き けんいちろう 十 十 木 謙 一 郎	住所	上高井郡高山村
<功績事項>			
<p>同氏は、森林組合職員及び役員として地域の森林整備や地域材の利用拡大に尽力されました。特に県内最大規模の森林組合である長野森林組合の広域合併に当たっては、各森林組合や行政との連絡調整役として、合併に向けての組織・執行体制の整備や財務等の課題解決に取り組まれました。</p> <p>また、森林組合退職後は、安全衛生指導員として、森林組合時代からの経験を活かしフォレストワーカーの安全指導を熱心に行うなど、林業における最大の課題である林業労働安全の向上に貢献されています。</p>			

賞 名	長野県林業改良普及協会会長賞		
受賞者名	かみまきさとやま 上 牧 里 山 づ くり	住所	伊那市
<功績事項>			
<p>同団体は、松くい虫による被害をきっかけに伊那市天竜川段丘に位置する上牧地区の里山の保全と地区住民の森林整備に対する意識高揚を図ることを目的に、平成 25 年 7 月に設立されました。これまで、地域コミュニティの場としての森林空間の整備や、延べ 50ha を超える森林整備、7km に及ぶ作業道・自然体験歩道の整備を進めてこられました。</p> <p>また、信州大学等の協力を得ながら地区全体の森林の保全・整備計画を立て、その実践と間伐材の利用にも取り組むとともに、整備された里山でのレクリエーションや小学校と連携した教育活動を実施するなど、森林を通じた地域活性化に寄与されています。</p>			

賞 名	長野県林業経営者協会会長賞		
受賞者名	うちかわ りきお 内 川 利 喜 夫	住所	安曇野市
<功績事項>			
<p>同氏は、内川林業として安曇野市明科地籍において、60 年間薪炭林施業に携わっており、15～20 年サイクルで区画ごとの小面積皆伐を行い、天然更新による 2 次林を維持しています。収穫した広葉樹は主に薪、シイタケの原木として地域に安定的に供給されています。</p> <p>また、同氏は補助金などを利用せず、小規模な林業機械を用い零細ながら確実な黒字経営を行うなど地域林業への貢献は大きく、身近な里山の整備に貢献されています。</p>			

賞名	長野県特用林産振興会長賞		
受賞者名	くろだ よしひろ 黒田 賢廣	住所	木曾郡木曾町
<功績事項>			
<p>同氏は、旧木曾福島町新開西洞地区で西洞薪炭会の会長として製炭に携わるとともに炭に関わる地域固有の伝統や山村における炭焼きの役割を独自に研究されてきました。このような活動のなかで、木曾郡内の生産者の連携を深め、生産者の社会的・経済的向上を図る目的で「木曾製炭振興協議会」の設立に尽力され、初代会長として後継者の育成に取り組むとともに製炭技術の向上と地域の産業・文化の振興に大きく貢献されました。</p> <p>また、カラマツを材料とした炭が名古屋市の河川浄化の取組に利用されるなど、県内外での炭の利用拡大に取り組まれています。</p>			

賞名	長野県猟友会長賞		
受賞者名	いとう かずたか まつざわ たけし まつむら ひでしげ 伊藤 和孝、松澤 毅、松村 秀重	住所	飯田市
<功績事項>			
<p>伊藤氏、松澤氏、松村氏の3氏はほぼ2年間をかけ、従来の「くくりわな」より設置が容易で高性能な「笠松式くくりわな」を平成18年に完成させました。「笠松式くくりわな」は、簡単な構造で設置が容易であり、熟練者以外が設置しても野生動物に警戒されにくいいため、ニホンジカなどの捕獲効率の向上に貢献しています。</p> <p>また、「笠松式くくりわな」は全国的に普及し、わな猟免許取得者の増加や、農業者自らが農作物を守ろうとする動機づけにつながっています。</p>			

【森林環境教育推進の部】

賞名	長野県知事賞		
受賞者名	あさひもり 朝日森林のクラブ	住所	東筑摩郡朝日村
<p>＜功績事項＞</p> <p>平成4年に設立した同クラブは、朝日小学校との共催で森林体験教室を開催しています。</p> <p>また、同クラブは朝日村の森林整備を自らの手で実施することで村の再生を目指し、チェーンソー講習会を実施し、ボランティアや自伐林家の技術向上に貢献するとともに、自ら森林整備を実施することで所有者の手が行き届かない森林の整備も行っています。</p> <p>こうした取組は、村民に幅広く森林整備の効果を目に見える形で普及啓発することになり、森林整備への意欲喚起に大きく貢献しています。</p>			

賞名	長野県教育委員会賞		
受賞者名	うえだじょしたんきだいがくふぞくようちえん 上田女子短期大学附属幼稚園	住所	上田市
<p>＜功績事項＞</p> <p>昭和53年4月に開園した同幼稚園は、平成25年度から木育活動をスタートさせ、子ども達が木に親しみながら、自然を慈しむ心と想像力を育てる環境教育に取り組んでいます。子ども達は園周辺の森林で四季折々の森林に親しみ、自分の目や耳、手足で直接触れて確かめ、独自の遊びを創造しており、その活動は「信州型自然保育認定団体」の認定を受けるなど森林を活かした自然教育を実践されています。</p> <p>また、第67回全国植樹祭では、県内保育園・幼稚園で唯一の苗木のスクールステイに取り組み、植樹祭当日はその苗木を園児が植樹するなど、森林づくりを通じた環境教育を積極的に実践しました。</p>			

賞名	長野県教育委員会賞			
受賞者名	ながのけんしもいな <u>のうぎょうこうとうがっこう</u> 長野県下伊那農業高等学校	けんきゅうはん アグリ研究班	住所	飯田市
<p>＜功績事項＞</p> <p>「シカ肉はおいしい」ことを一般家庭にも知ってもらい、牛肉や豚肉と同様に流通するようになりたいとの考えのもと平成25年度から「シカ肉」を活用した家庭でも作れる簡単料理レシピの開発に取り組んでいます。</p> <p>同班では「とりあえず多くの人に味わってもらおう」ことが必要であるとの考えから、様々なイベントに出店するとともにジビエを美味しくする調味味噌「漬けガール」を地元企業と共同開発するなど地域の貴重な資源の有効活用に貢献しています。</p>				

【信州の木利用推進の部】

賞名	長野県知事賞		
受賞者名	<small>ないがいやくひんかぶしきかいしゃ</small> 内外薬品株式会社	住所	富山県富山市
<功績事項>			
<p>同社は、解熱鎮痛剤「ケロリン」の広告媒体として黄色いプラスチック桶を温泉施設等に設置していましたが、平成 27 年の北陸新幹線開業に合せ、木曽のサワラを使用した木桶「ケロリン木桶」を開発し、銀座 NAGANOなどで販売しています。</p> <p>また、同社は「森林（もり）の里親制度」に協力いただき、木桶の売り上げの一部は、木曽広域連合が運営する「水源の森基金」へ寄付していただいています。</p> <p>「ケロリン桶」の流通、波及により、日本固有の文化である木桶の文化の再生が期待されます。</p>			

賞名	長野県木材協同組合連合会理事長賞		
受賞者名	<small>かぶしきかいしゃ</small> マルコメ株式会社	住所	長野市
<功績事項>			
<p>同社は長野市内で味噌製造を行い、国内でも有数の味噌製造者です。味噌の仕込みにはかつてはどこのメーカーでも木桶で仕込みを行っていましたが、近年ではステンレス製容器の生産が主流となっています。</p> <p>このような中、同社では「大型木桶による味噌仕込みプロジェクト」を打ち出し、根羽村産のスギの大径材を利用した木桶を製造し、平成 28 年 3 月より木桶を使用したオリジナル味噌の仕込みを開始しています。</p> <p>木桶の利用は、県内の大径材の有効利用に新たな道しるべを付けるとともに他の食品業界への波及効果も期待されます。</p>			

【長野県森林づくり県民税活用の部】

賞名	長野県知事賞		
受賞者名	かぶしきかいしゃながのせいさくしょ NTN株式会社長野製作所	住所	上伊那郡箕輪町
<p>＜功績事項＞</p> <p>同社は、平成18年3月に駒ケ根市と、「森林（もり）の里親促進事業」に基づく森林整備協定を、上伊那地域で初めて締結されました。締結以降は、駒ケ根高原・光前寺周辺に通じる沿道の民有林において森林整備を実施しており、これまで約52haの森林が整備されました。</p> <p>また、毎年同社の社員とその家族が、地域住民の指導のもとで除伐などの森林整備活動に参加するとともに、森林空間を活用したレクリエーションを行うことで、森林に親しむきっかけ作りを図っています。</p> <p>また、同社と駒ケ根市との協働による森林整備が県のCO₂吸収量評価の認証も受けるなど、その取組は地域に大きな活力をもたらしています。</p>			

賞名	長野県森林組合連合会長賞		
受賞者名	せいかつきょうどうくみあい 生活協同組合コープながの	住所	長野市
<p>＜功績事項＞</p> <p>同組合は、「森林（もり）の里親促進事業」を活用し、平成18年から10年に渡り、小川村「絆の森」で森林との触れ合いを目的に森林整備を進めています。さらに、平成26年には安曇野市「天平の森」にて2カ所目のとなる「森林（もり）の里親」契約を締結し、支援と活動を実施しています。</p> <p>また、森林活動を「森のがっこう」と位置づけ、植樹作業や里山ウォーキング、ロケットストーブづくり等幅広く活動されており、その取組みは同組合組合員を始めとする消費者に暮らしと森のつながりや森林整備の必要性を伝えています。</p>			